

ID	発症日	患者	性別	年齢	居住地	職業	感染経路	検査結果	治療	経過	補正 検査 結果	感染症(PT)	出典	概要
												ウエストナイルウイルス	CDC (http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90550に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 January 5	90550に同じ
												チクングニヤウイルス感	CDC 2009 August 17	90550に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	2008年9月以降の6ヶ月間、ニューヨーク市において輸血関連バベシア症の報告急増。市衛生局は医療従事者に対し、3ヶ月以内に輸血又は臓器移植の既往歴があり、発熱/溶血性貧血を呈する患者の鑑別診断にバベシア症を考慮するよう勧告した。
												HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ
												HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
												細菌感染	日本感染症学会 第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	2002-2003年に高知県で日本紅斑熱が疑われた患者18名の保存血液を解析した結果、2名からヒトアナプラズマ(<i>Anaplasma phagocytophilum</i> :A.p.)に特異的なp44/msp2遺伝子が検出され、ヒトアナプラズマ症の国内における存在を初めて確認した。1例はヒトアナプラズマ症で、もう1例はA.pと日本紅斑熱リケツチア(<i>Rickettsia japonicar</i> :R.j)の混合感染症であった。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457; 1079	90550に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20090108.0076	90550に同じ
												BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esb_monde.htm)	90550に同じ

ID	発行日	巻号	掲載誌名	記事タイトル	著者	国	成分	有効成分	有	有	無	感染症 (P/F)	出典	概要
												BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm)	90550に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												感染症	FDA/CBER http://www.fda.gov/cber/blood/fatal08.pdf	2005～2008年度のCBERに報告された供血後及び輸血後の死亡例概要。2008年度は、受血者72件、供血者10件の死亡報告。受血者死亡の内訳は、46件が輸血関連もの、8件が輸血関連性否定できないもの、18件が輸血と関連しないもの。微生物感染はバベシア症5件、Staphylococcus aureus、Staphylococcus epidermidisがそれぞれ1件。05～08年度の微生物感染28件中、10件をバベシア症が占めている。
310	2009/11/2	90718	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	人血液	日本	有効成分	有	有	無	A型肝炎	Eurosurveillance 2009 April 16; 14(15)	90550に同じ
												B型肝炎	日本肝臓学会第37回東部会 O-85	90550に同じ
												B型肝炎	Hepatology 2009; 49: S156-165	90717に同じ
												B型肝炎	Transfusion 2009 July; 49: 1314-1320	90666に同じ
												B・C型肝炎	Transfusion 2009; 49: 648-654	90717に同じ
												感染症	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55: 245	90550に同じ
												E型肝炎	Emerging Infectious Disease 2009; 15 :704-708	90550に同じ
												E型肝炎	第57回日本輸血・細胞治療学会 2009; 55: 244	90550に同じ

										題名	出典	概要
										HIV	Pediatrics 2009; 124: 658-666	90550に同じ
										HIV	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24; 314	90550に同じ
										HIV	Nature Medicine 2009; 15; 871-872	90636に同じ
										Q熱	Eurosurveillance 2009; 14(19); 2009 May 14	90717に同じ
										アメリカ・トリパノソーマ症	Emerging Infectious Disease 2009; 15:653-655	90717に同じ
										アメリカ・トリパノソーマ症	ProMED-mail 20090406.1328	90717に同じ
										アメリカ・トリパノソーマ症	CBER (http://www.fda.gov/cber/gdlns/chagas.htm)	90717に同じ
										ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
										インフルエンザ	Virus Res. 2009; 140: 85-90	90550に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360; 2605-2615	90473に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
										新型インフルエンザ (H1N1)	Eurosurveillance 2009; 14; 19244	90550に同じ
										ウイルス感染	日本感染症学会 第83回総会 P224 O-171	90505に同じ
										ウイルス感染	ProMED-mail 20090806.2782	90666に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料名	原産国	含有区分	文書	症名	適正 使用 措置	感染症(PJ)	出典	概要
												ウエストナイルウイルス	CDC (http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&controlCaseCount08_detailed.htm)	90550に同じ
												クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion Epub 2009 January 5	90550に同じ
												チクングニヤウイルス感染	CDC 2009 August 17	90550に同じ
												バベシア症	2009 Feb 23; New York City, Department of Health	90717に同じ
												HTLV	47 news. 2009 Jun 27	90550に同じ
												HHV-8感染	Journal of Infectious Disease 2009; 199(11); 1592-1598	90550に同じ
												細菌感染	日本感染症学会 第83回総会 2009 April 23-24; 224 O-172	90717に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2009; 457; 1079	90550に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail 20090108.0076	90550に同じ
												BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbmonde.htm)	90550に同じ

ID	発出日	輸出先	品名	成分	動物	産地	有効成分	有	無	無	感染症 (FT)	出典	概要	
											BSE	OIE (http://www.oie.int/eng/info/en_esbru.htm)	90550に同じ	
											異型クロイツフェルト・ヤコブ病	BMJ 2009 May 21	90550に同じ	
											異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ	
											感染症	FDA/CBER http://www.fda.gov/cber/blood/fata108.pdf	90717に同じ	
311	2009/11/6	90719	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	有	無	無	野兔病	ProMED-mail 20090417.1458	米国ニューメキシコで2匹の死亡したウサギから野兔病が確認された。1例は4月9日にSanta Fe市街から数マイル南西にあるLa Cienegaで、もう1例は4月8日に同市街のすぐ西で死骸で見つかった。また、5月31日にSanta Fe北端で死亡したウサギが見つかり、ペスト(<i>Yersinia pestis</i>)に陽性であった。これらウサギの死亡と関連したヒトおよびペットの報告はなく、抗生物質による予防は必要ない。ニューメキシコ当局はウサギが細菌感染によっておこる野兔病で死亡していること、またペスト感染を避けるため予防措置に従うよう呼びかけた。
312	2009/11/6	90720	大洋薬品工業	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	有	無	無	野兔病	ProMED-mail 20090417.1458	090719に同じ
313	2009/11/6	90721	大洋薬品工業	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	有	無	無	インフルエンザ	Journal of General of Medicine 2009; 90: 900-908	ヨーロッパで流行しているブタインフルエンザAウイルスのM2分節の遺伝子解析の結果、全亜型H1N1、H3N2およびH1N2においてSerine31がasparagineに置換されているため、高い頻度でアマンタジン耐性を示していることが明らかとなった。また、すべての耐性株のM分節は単一の遺伝子系統に属している。1989年に初めてアマンタジン耐性株が分離され、最後にアマンタジン感受性株が分離されたのは1987年であり、アマンタジン感受性ウイルスは変異が出現したすぐ後に耐性菌に置き換わったことを示唆している。コドンに基づいた自然淘汰の解析の結果、コドン30,31および34の陰性選択がアマンタジン耐性を付与していることが示され、ブタおよびヒトのコドン2,11-18および54は置換率のパターンに違いが認められ異なる選択性が示唆された。M分節の置換によってアマンタジン耐性が変わることもおよびA/WSN/33とavian-likeなM分節との組換えの可能性がヒトの再集合体の出現を危惧させる。

ID	受理日	番号	申請者	製品名	生物由来成分	原料名	産産国	有効成分	有	無	無	無	感染症 (PT)	出典	概要
													新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
314	2009/11/6	90722	大洋薬品工業	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	有	無	無		インフルエンザ	Journal of General of Medicine 2009; 90: 900-908	90721に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	N Engl J Med 2009; 360: 2605-2615	90473に同じ
315	2009/11/16	90723	富士フィルムRIファーマ	テクネチウム人血清アルブミン(^{99m} Tc)	テクネチウム人血清アルブミン(^{99m} Tc)	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無		ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
													HIV	Nature Medicine 2009; 15: 871-872	90636に同じ
316	2009/11/17	90724	ワイス	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	無	無	無				
317	2009/11/18	90725	化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC	プロテインC	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無		細菌感染	日本細菌学会第82回総会 (2009 March 12,13,14)	90498に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
													新型インフルエンザ (H1N1)	厚生労働省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 May 16	90498に同じ
318	2009/11/18	90726	化学及血清療法研究所	乾燥ペブシン処理人免疫グロブリン	ペブシン	ブタ胃粘膜	米国、カナダ	製造工程	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	農林水産省 新型インフルエンザに関する報道発表資料 2009 October 21	2009年10月21日、農林水産省は大阪府の養豚農場のブタから分離されたウイルスが新型インフルエンザであることを発表し、当該農場に対し、臨床検査および遺伝子検査により異常がないことを確認するまで飼育ブタの移動を自粛するよう要請した。(独)農研機構動物衛生研究所がHおよびN亜型検査(遺伝子解析)を実施した結果、本ウイルスはH1N1亜型であり、新型インフルエンザと同一である事を確認した。
319	2009/11/20	90727	サノフィ・アベンティス	エノキサパリンナトリウム	ヘパリンベンジルエステル	ブタ腸粘膜	アメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ及びオーストリア	有効成分	有	無	無		新型インフルエンザ (H1N1)	ProMED-mail 20090723.2603	カナダCFIAの検査員2名が、2009年4月下旬にAlbertaのブタにおけるインフルエンザアウトブレイクについて調査中にブタインフルエンザA/H1N1に感染したことが発覚した。カナダにおける最初の新型インフルエンザ感染例である。

ID	承認日	承認番号	製薬会社	ワクチン名	成分	製造工程	製造国	有効成分	無	無	無	製造国(国)	出典	概要
320	2009/11/24	90728	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	ヘミン	ウシ	米国及び製造時にBSE問題のない国	製造工程	無	無	無			
321	2009/11/24	90729	萬有製薬	肺炎球菌ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
322	2009/11/24	90730	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	アルグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	宿主細胞株は、Dr.LawrenceChasin(ColumbiaUniversity)より入手した	有効成分	無	無	無			
323	2009/11/24	90731	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
324	2009/11/24	90732	ジェンザイム・ジャパン	アルグルコシダーゼ アルファ(遺伝子組換え)	トリブジン	ブタ臍臓	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	新型インフルエンザ(H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58: 1071-1074	米国CDCは2009年5月1日から8月20日に2009パンデミックインフルエンザA(H1N1)感染が確認され死亡した77例の米国人患者の肺組織を検査し、肺炎を引き起こす細菌重感染について調査した。77例中22例で重感染の根拠が認められ、そのうち10例からStreptococcus pneumoniaeが検出された。22例中有効な症例である17例について検討した罹患期間は6日間であり、18例中情報が得られた14例は医療機関を受診しており、8例が入院した。これらの結果から、2009パンデミックインフルエンザA(H1N1)感染の死亡例には細菌性肺感染が発現しており、肺炎球菌性肺炎のリスクが高い患者への肺炎球菌ワクチン接種およびインフルエンザ患者の細菌性肺炎を早期発見することの両方の重要性を強調している。
325	2009/11/24	90733	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	ウサギ血清	フランス、ベルギー	有効成分	無	無	無			
326	2009/11/24	90734	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	米国、カナダ、スウェーデン、スロバキア、チェコ、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ポーランド、リトアニア、ベルギー	製造工程	無	無	無			
327	2009/11/24	90735	ジェンザイム・ジャパン	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン	赤血球	ヒト血液	米国	製造工程	無	無	無			
328	2009/11/25	90736	田辺三菱製薬株式会社	肺サーファクタント製剤	サーファクタント	ウシ肺	ニュージーランド、オーストラリア	有効成分	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	製品名	原料名	製造国	有効成分	有	無	無	無	出典	概要
329	2009/11/26	90737	日本製薬	人免疫グロブリン	免疫グロブリンG	人血液	日本	有効成分	有	無	無	新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30 90523に同じ
												パルボウィルス	FDA/CBER Guidance for Industry 2009 July 90523に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270 90527に同じ
330	2009/11/26	90738	日本製薬	乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	抗D(Rho)抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30 90523に同じ
												パルボウィルス	FDA/CBER Guidance for Industry 2009 July 90523に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Vox Sanguinis 2009; 96; 270 90527に同じ
331	2009/11/26	90739	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	インターフェロンガンマ-n1	ヒトミエロモノサイト細胞株	アメリカ	有効成分	無	無	無		
332	2009/11/26	90740	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	人血清アルブミン	ヒト血液	アメリカ	添加物	無	無	無		
333	2009/11/26	90741	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無		
334	2009/11/26	90742	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	抗IFN- γ モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無		
335	2009/11/26	90743	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	ハムスター(ヒトミエロモノサイト細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無	無	無		

ID	登録日	承認番号	製薬会社	成分	原料	製造国	製造工程	有効成分	有	無	無	副作用	出典	概要
336	2009/11/26	90744	大塚製薬	インターフェロンガンマ-n1	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
337	2009/11/26	90745	ベネシス	トロンピン	人血液	日本	有効成分	有	無	無				
												細菌感染	日本細菌学雑誌 2009; 64; 220	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMWR 2009; 58; (Dispatch) 1-3 (2009 April 21)	90498に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	FDA/CBER 2009 April 30	90523に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	Science 2009; 10.1126/SCIENCE .1176062	90527に同じ
												リケッチア症	第83回日本感染症学会総会 2009 April 23-24	90527に同じ
												ウイルス感染	N Engl J Med 2009; 360; 2099- 2107	90505に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	HPA 2009 May 22	90527に同じ
												新型インフルエンザ (H1N1)	CDC/MMRW 2009; 58: 521-524	90527に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2009; 4: e1000455	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 2009 June 5	90527に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	FDA/TSE advisory committee 2009 June 16	90527に同じ